

社員の皆様へのメッセージ

株式会社イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2012.4
224

2012年新入社員諸君へ

新入社員の皆さん、イナテックに入社していただきありがとうございます。

皆さんに次の三つの言葉を贈ります。

一、フチグロバルな発想と行動

二、チャレンジ精神

三、与えられた仕事を一所懸命やること

始めにフチグロバルな発想ですが、日本最南端の石垣島を中心にして日本最北端の稚内までを半径として円を描いてください

ロシア ハバロフク

モンゴル ウランバートル

中国 チベット高原を除いた全土

ミャンマー タイ ラオス ベトナム

カンボジア フィリピン 以上の国の全土

「わたらの国々が入るわけです。」

「我々からは実際の商圏として考える時代です。隣国ではなく、日本国（商圏）なのです。そんな発想で行動（ビジネス）ができる人材になって下さい。」

「チャレンジ精神」ですが、「失敗は成功の母」といいます。

失敗を恐れずチャレンジしてください

「与えられた仕事を一所懸命やる」ということは「あまり先の事を考えてもなかなか思うようにはならないから、まずは当面の事に専念するやがて必ず新しい道が開けてくる」ものなんです。

そこで大切なことは、まわりの上司や先輩、仲間の人たちが「感動」するくらいやることなんです。必ず道は開けます。

新入社員の皆さんには平等にチャンスを与えます。教育します。

それはあくまでもきつかけなんです。掴むのも見逃すのも貴方たちです。イナテックの仕事を通して自分を磨き向上させて下さい

おしるじよなかれ

元祖と名乗るとおいくくなるのが

フナイFAXの記事の中から「ぶしっ」とくるものがありません。

博多の明太子はオリジナルな命名であるにもかかわらず登録商標されていません。それは明太子を創造し、命名した「ぶくや」初代社長の川原俊夫氏が商標登録を意図的にしなかったからです。他社が類似商品を作って同じ名前をつけることで、明太子が広まることを歓迎したそうです。そればかりか、教えを請う人がいればレシピも公開したそうです。それによって明太子という商品と名は日本中に広がり、博多の名物となりました。

そこで二代目の川原正孝さんが「元祖」という冠をつけよつと提案されたそうです。これは事実で、誇張でもありません。

しかし創業者は「つ」言ってその提案を却下したそうです。

「元祖と名乗るとおいくくなるのか?」どの会社が発明したが、早くから扱ったかなどは関係なく、その時その時で一番おいしい明太子を作ることが全てだという思想を創業者は明確に

持つていたそうです。

“元祖”と名乗ることで品質が全てというこの思想が将来、揺らぐ事を戒めたのだと思えます”

イナテックもお陰様で創業60周年を迎えました。歴史もできてまいりました。まさしくイナテックがあるのも創業前後当時お世話になった先輩やお世話になったお得意先様がいてくださったため、尚且つ今現在、やはりお客様に対して「品質は良いが」「価格は喜んでいただけるのか」等、努力を重ねなければイナテックの将来はないということです。

気づかせていただいたフナイFAX「ぶくや」初代社長川原俊夫氏に感謝したいと思いません。

イナテックが永井科学技術財団「技術賞」をいただく

イナテックの和泉工場とCAD・CAM木型チームがいただいたこの賞とは、新東工業の元会長さんが素形材産業の発展と躍進のため、学術研究に功績のあった愛知県下の研究者へ贈呈するものです。

イナテックとしての受賞の内容は「レクサス」

FAのトランスミッションに搭載されているオイルセパレーターは肉厚1.5mmと一般の砂型铸造では不可能とされている厚さであり、また内蔵物(キヤ)とのクリアランスは約1mmと狭いため、一般の砂型铸造以上のダイカスト並みの高精度が要求されていたがイナテックはその製作を実現する事ができたというものです。

その結果、イナテックの軽合金のダイカスト並み高精度薄肉砂型铸造技術が評価され、この受賞に至ったものです。

イナテックがアルミマグネ铸造を始めてから19年が経ちました。社員の皆さんの努力とカルキ鑄工様や「ノワイ」様の指導のお陰でここまでこれたことに大変感謝いたします。

途中何度か社長、「铸造」は赤字だからやめましよう」と議論が持ち上がりましたが、わがままを通させていただき、尚且つ皆さんの努力の賜物です。

これで“切削”のみの工程型企業から、素材設計から切削までの一貫生産体制が整ったわけです。これから皆で努力しバランスのとれた“一流開発型企業”をめざそうではありませんか。

イナテックも「プロダクトアウト型」の企業から「マーケットイン型」の企業へ変身する時です。舞台はできました。役者も揃いました。ステージ開幕に向けて日々頑張ります。本当にありがとうございます。